

報道関係各位

2025.12.09

アストンマーティン ジャパン



## アストンマーティン Valkyrie、 2026 年 WEC に同じラインナップで参戦を発表

- アストンマーティン THOR チーム、Valkyrie の鮮烈なデビューイヤーを礎にさらなる飛躍を目指す
- アストンマーティン、2026 年シーズンではハイパーカー・クラスのドライバーラインナップを変更せずに参戦
- トム・ギャンブルとハリー・ティンクネルが 007 号車でレースに参戦、耐久ラウンドではロス・ガンが加わりクルーを全員英国勢で固める
- アレックス・リベラスはマルコ・ソーレンセンと再度チームを組み 009 号車で参戦、長距離レースではロマン・デ・アンジェリスが加わる
- Valkyrie は、世界最高峰の 2 大スポーツカーシリーズである IMSA および FIA 世界耐久選手権に参戦する唯一のハイパーカーとなる



2025 年 12 月 8 日、ゲイドン（英國）：

驚異のハイパーカー アストンマーティン Valkyrie は、世界最高峰のスポーツカーレースで華々しいデビューを飾った先シーズンに続き、ドライバーのラインナップを変更せず、2026 年 FIA 世界耐久選手権（WEC）に参戦します。

アストンマーティン Heart of Racing (THOR) チームでは、来年も再びトム・ギャンブルとハリー・ティンクネルの英国人コンビが Valkyrie 007 号車のステアリングを握り、特定の WEC レースではロス・ガンがサポートに入ります。一方、アレックス・リベラス（スペイン）とマルコ・ソーレンセン（デンマーク）は 009 号車のドライバーとして復帰し、必要に応じてロマン・デ・アンジェリス（カナダ）が代役を務めます。

アストンマーティン THOR チームの代表を務めるイアン・ジェームズは次のように語りました。「2025 年を通してプログラムが成長・発展するにつれ、私たちがチームとして得たものはたくさんありました。学ぶことも多くありました。ドライバーたちはグループとして、私たちの期待を上回る成果を上げてくれました。例えば、最初の段階では、ドライバーたちが全力で取り組まなければならない膨大な量の作業がありました。しかしそれは同時に、Valkyrie に関する理解と知識を集約した極めて貴重な拠点を構築したことにもなります。これは 2 年目のシーズンへ進む上で役立つでしょう。Valkyrie の競争的な特性をいかに活用するかについて理解を深め続ける中で、それはドライバー全員が学んだ知識を活かし、2026 年にはさらに多くの成果を達成できるよう前進する絶好の機会となります。私たちは彼らがそれをやり遂げてくれると言及しています。」

Valkyrie はアストンマーティン初のル・マン・ハイパーカー (LMH) です。アストンマーティンのワークスチームである THOR が駆る Valkyrie は、WEC の最高峰クラスで唯一、公道仕様のハイパーカーをベースにしており、2 月のカタール 1812km レースでグローバルデビューを果たしました。この先駆的なプログラムは 2025 年を通じて競争力と経験を着実に高め、鮮やかなグリーンをまとった 2 台のアストンマーティン Valkyrie の WEC での総走行距離は 2 万 2000 マイル（ル・マン 24 時間を含む）を超えることを達成しました。

Valkyrie のデビューシーズンでは連続してポイントフィニッシュを決め、富士 6 時間レースでは WEC 全体の最高成績となる総合 5 位を獲得しました。また、リベラスはバーレーン 8 時間レースにおいて猛攻で先頭に躍り出て WEC レースで初めてレースの先頭に立ち、シーズン最終戦では 7 位となりさらにポイントを獲得しました。一方、IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権最終戦となった 10 月中旬のロード・アトランタのプチ・ル・マン 10 時間レースでは、Valkyrie が国際レースにおける初表彰台を獲得しました。デ・アンジェリス、ガン、リベラスはこのレースで、初優勝まで 5 秒差に迫りました。

6 月には 2 台の Valkyrie はともにル・マン 24 時間レースで心強い走りを見せ、初の 24 時間レースをトラブルなく完走し、12 位と 14 位でフィニッシュしました。その結果、アストンマーティン THOR チームは、車両およびアストンマーティンのマニュファクチャラー世界選手権初ポイントをハイパーカー・クラスで獲得しました。



## Heart of Racing が Vantage の WEC 挑戦を主導

- アストンマーティンのパートナーチームである Heart of Racing (THOR) 、2台の Vantage で 2026 年 FIA 世界耐久選手権に参戦
- THOR チーム代表のイアン・ジェームズ、27 号車アストンマーティン Vantage GT3 で 3 シーズン目の世界選手権に挑む
- グレイ・ニューウェル、GT World Challenge America においてアストンマーティン Vantage GT3 での初シーズンを成功裏に終え、2026 年は WEC レベルにステップアップ
- Vantage、世界選手権に 14 年連続参戦
- アストンマーティン、2026 年に 12 回目の GT 世界選手権タイトル獲得を目指す

2025年12月8日、ゲイドン（英国）：

アストンマーティンパートナーチームであるHeart of Racing (THOR) は、英国が生んだウルトラ・ラグジュアリーなスポーツカーブランドとして史上最も成功を収めたレーシングカー、Vantageによる、2026年FIA世界耐久選手権（WEC）への挑戦をリードします。米国を拠点とする同チームは、世界で最も権威ある耐久シリーズにおいて1台体制で2度にわたる成功を収めた後、GTプログラムを拡大し2台体制で参戦します。

チーム代表のイアン・ジェームズ（英国）は、WEC参戦以来常にトップドライバーとして活躍し、THORの27号車、Vantage GT3でLMGT3クラスに3シーズン連続で参戦します。ジェームズは2025年、バーレーンでのWECシーズン最終戦で表彰台を獲得し、同クラスにおいて総合4位でシーズンを終えました。

ジェームズは、バーレーンで開催されたシーズン終了後のルーキーテストでチームに印象的な走りを見せた米国人ドライバー、グレイ・ニューウェルと共に、姉妹車である23号車に乗り込みます。28歳のドライバー、ニューウェルは、GT3レベルでの好調なデビューシーズンを経て、WECにステップアップします。2025年には、ワーカスドライバーのダレン・ターナーと組み、GT World Challenge AmericaのPro-Amクラスで3度の表彰台を獲得しました。

ニューウェルは次のように述べています。「Heart of Racingチームとして2026年のWECのレースに出場してほしいと言われたときは、非常に驚いたと同時に光栄に思いました。ルーキーテストへの参加の機会を頂いたとき、これが長期的な目標になるかもしれないと思いましたが、こんなに早くWECに昇格するとは予想していませんでした。興奮と緊張が入り混じった複雑な

気持ちです。チームがこれほど私を信頼してくれているのは非常に名誉なことですし、その期待に応える準備もできています。学ばなければならぬことはたくさんありますが、イアンとチームは私の限界を常に正確に把握してくれているので、彼らの判断を全面的に信頼しています。新境地の幕開けです！」

ジェームズは次のように付け加えました。「グレイはルーキーテストで印象的な走りを見せました。記録したタイムはバーレーン8時間レースのハイパー・ポールに進出できる可能性を十分に秘めっていました。そうは言っても、ルーキーがWECに参戦するのは大きなステップアップであり、学ぶべきことは多いでしょう。私たちは彼がスムーズにWECに移行し、これまでのレーシングキャリアで彼が示した能力を引き続きさらに強化できるようにあらゆる支援を行います。私自身に関して言えば、WECにはやり残した課題があります。今年4位を獲得したLMGT3クラスでさらに上位を目指し、ル・マン24時間レースの表彰台に再び立てるよう全力で取り組みます。」

来シーズンでVantageは15年連続でWECに参戦します。5世代にわたり13シーズンを通して、アストンマーティンの卓越したGTチャレンジャーは、世界レベルで53回のクラス優勝を勝ち取っています。これはマニュファクチャラーの中で2番目に多い数です。

Vantageは参戦したすべてのWECクラス（LMGTE Pro、LMGTE AM、LMGT3）において、アストンマーティンが投入した全モデルバージョンで優勝を勝ち取っています。WEC時代には11の世界タイトルと5度のル・マン24時間レースクラスでの優勝を果たしたVantageは、69回のクラスポールポジションも獲得しています。

最新のVantage GT3は、ウルトラ・ラグジュアリーなパフォーマンス・ブランドの最も特化したスポーツカーのメカニカルアーキテクチャを採用し、アストンマーティンの実績ある接合アルミシャシーを中心に組み立てられ、驚異の4.0リッターV8ツインターボエンジンを搭載しています。2025年には、6月のル・マン24時間レースなどで3度のポールポジションを獲得し、2度の表彰台獲得を達成しました。デビューシーズンとなる2024年にはローン・スター・ル・マンで優勝しました。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは次のように述べています。「Heart of Racingは非常に優秀なパートナーであり、2026年におけるアストンマーティンVantageの世界選手権への挑戦を先導するのにふさわしいチームです。私たちはチームの質の高さ、エンジニアリングの専門性の高さ、そして成功を目指すチームの取り組みの熱意を十分に認識しています。もちろん、これまでの実績がその高い目標の裏付けとなっています。したがって、THORが来シーズンのWECで2台体制へと拡大することはきわめて当然のことです。アストンマーティンを代表してTHORが最高峰のGTレースで活躍していることを私たちは誇りに思います。こうしたパートナーシップの強化から素晴らしい結果が生まれることを期待して

います。」

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-tTpD4ZJ98J>

#### アストンマーティン・ラゴンダについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・プリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、*Vantage*、*DB12*、*Vanquish*、*DBX707*に加え、同社初のハイパーカーである*Valkyrie*など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、*Racing. Green.* サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上の国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

[astonmartin-pr@pjbc.co.jp](mailto:astonmartin-pr@pjbc.co.jp)